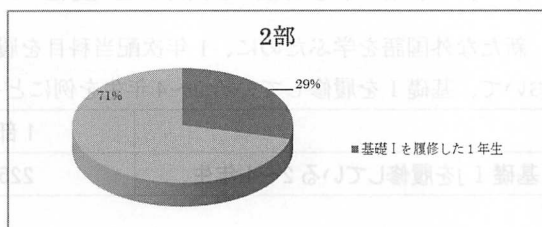
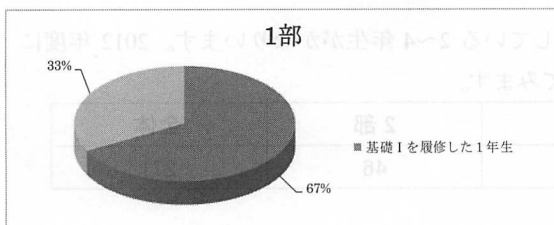


履修状況データ編

(1) 「英語以外の外国語」を履修するのは何人くらい？

「英語以外の外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国・朝鮮語）」の1年次配当科目の中で、中心的な役割を果たすのが「基礎Ⅰ」です。2012年度、どれくらいの1年生が「基礎Ⅰ」を履修したのか見ていきましょう。なお、複数の語種の「基礎Ⅰ」を履修している学生もいるので、「基礎Ⅰ」を履修しなかった学生の実際数は、表の数よりも少し多くなります。

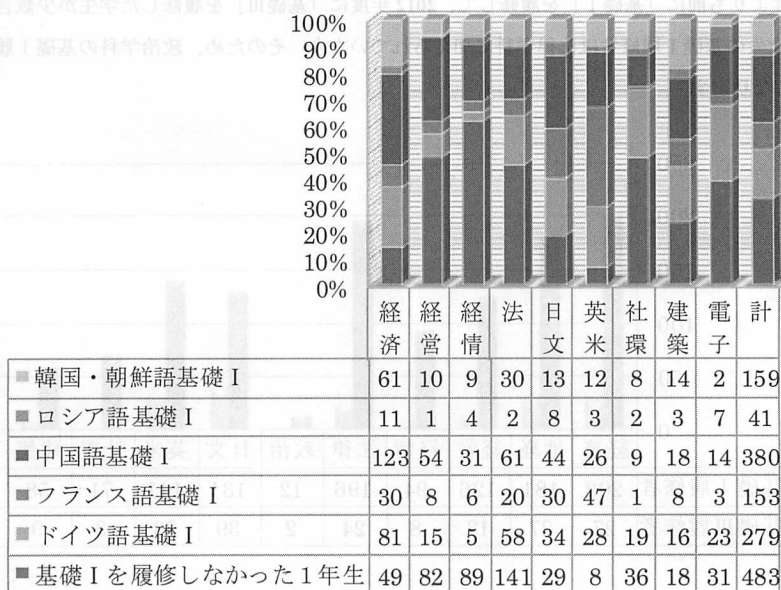
	1部	2部	全体
2012年度第1学年の入学人数	1557	515	2072
基礎Ⅰを履修した1年生	1046 (67%)	149 (29%)	1195 (58%)
基礎Ⅰを履修しなかった1年生	511 (33%)	366 (71%)	877 (42%)



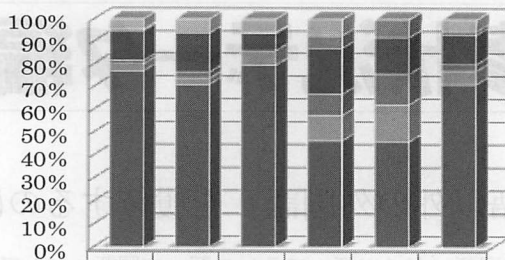
(2) 履修者が多いのは、どの学科？

「基礎Ⅰ」の2012年度1年生の履修状況を学科別に見ていきましょう。なお、経済学部・法学部は、所属学科が決まるのが2年次なので、学部の履修状況が示されています。

1部



2部



■ 韓国・朝鮮語基礎 I	6	7	11	4	0	28
■ ロシア語基礎 I	1	0	1	3	3	8
■ 中国語基礎 I	17	19	14	11	6	67
■ フランス語基礎 I	2	3	0	5	5	15
■ ドイツ語基礎 I	4	3	12	6	6	31
■ 基礎 I を履修しなかった 1 年生	100	78	146	25	17	366

(3) 下級年次配当科目を履修している人は？

新たな外国語を学ぶために、1 年次配当科目を履修している 2～4 年生がかなりいます。2012 年度において、基礎 I を履修している 2～4 年生を例にとってみます。

	1 部	2 部	全体
「基礎 I」を履修している 2～4 年生	225	46	271

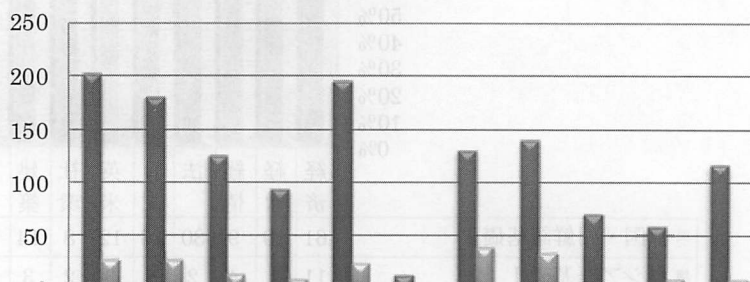
(4) 2 年次以降も継続学習している人は？

例として、2011 年度に「基礎 I」を履修した学生のうち、どのくらいの学生が 2012 年度に「基礎Ⅲ」(2 年次前期配当科目)を履修しているのか、学科別、語種別に見ていきましょう。

なお、2011 年度よりも前に「基礎 I」を履修して、2012 年度に「基礎Ⅲ」を履修した学生が少数含まれています。また、法学部 1 年次生の基礎 I 履修者は法律学科に加えられています。そのため、政治学科の基礎 I 履修者はすべて過年度生ということになります。

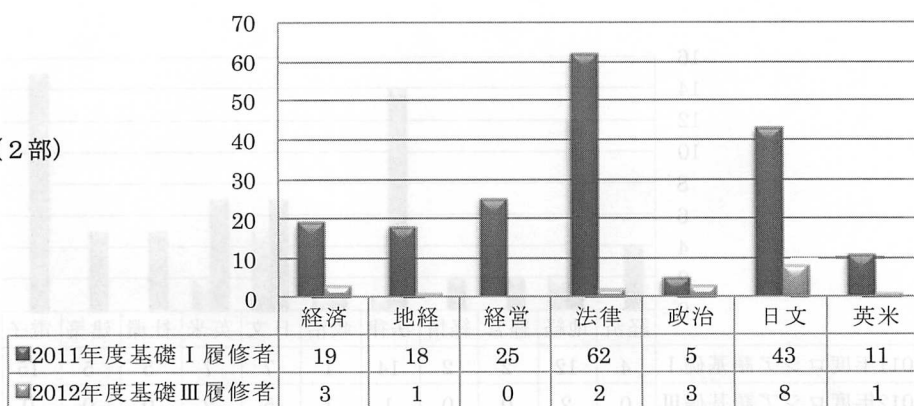
学科別

(1 部)



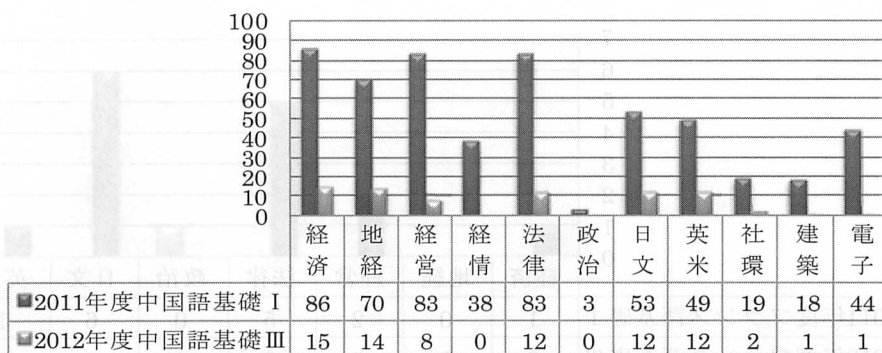
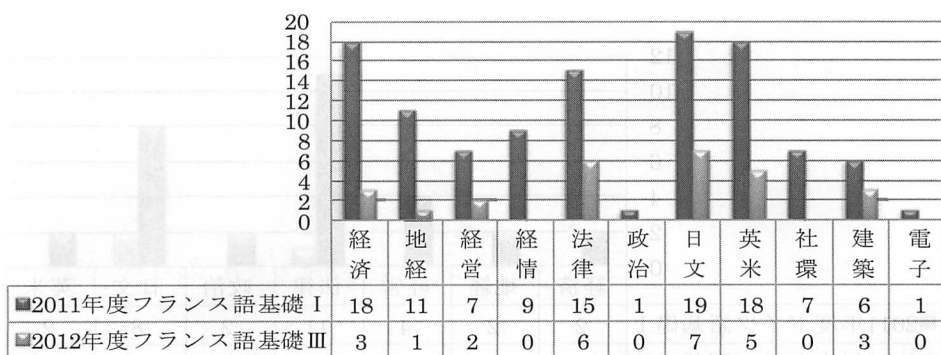
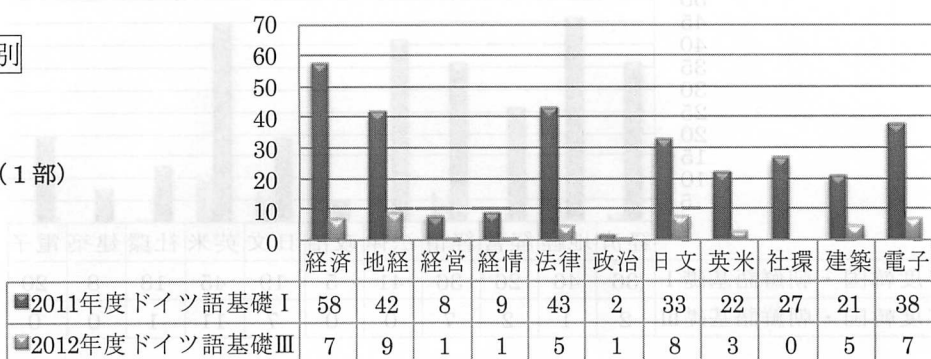
■ 2011年度基礎 I 履修者	202	181	126	94	196	12	131	141	71	58	118
■ 2012年度基礎Ⅲ履修者	27	27	13	8	24	2	39	33	3	9	8

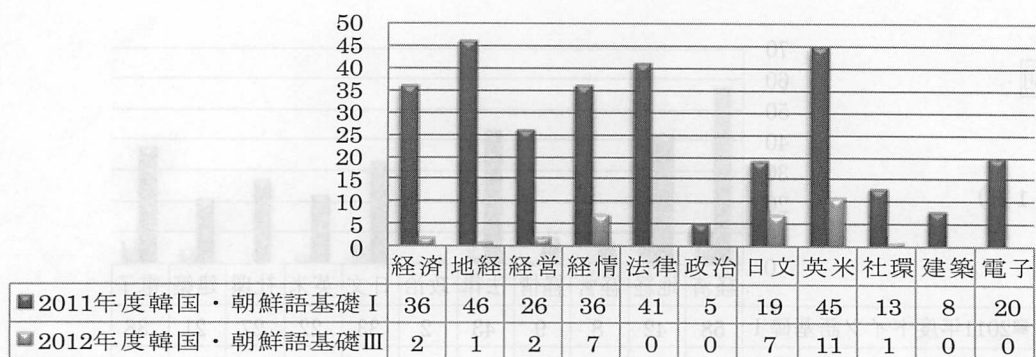
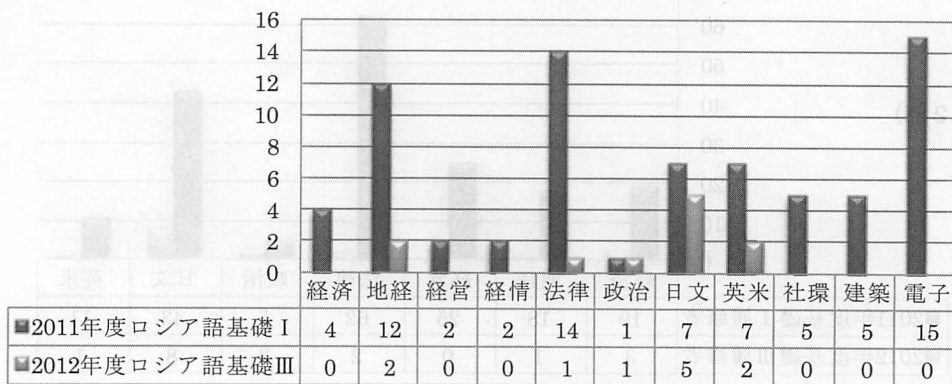
(2部)



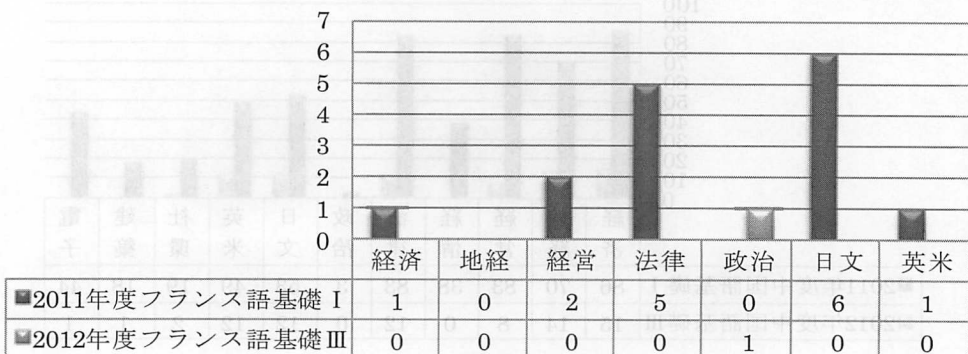
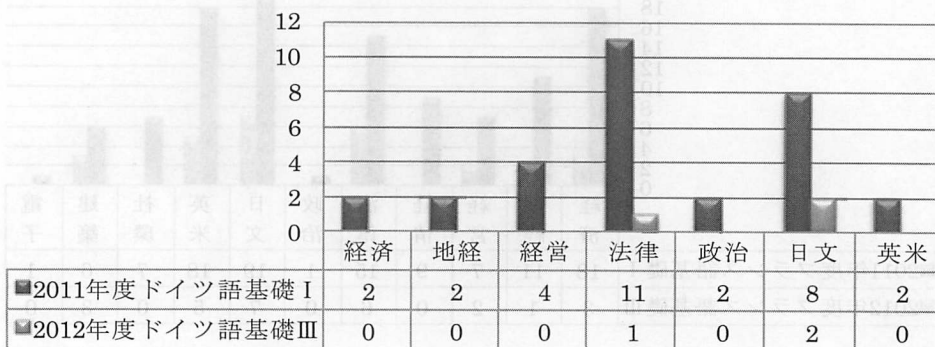
語種別

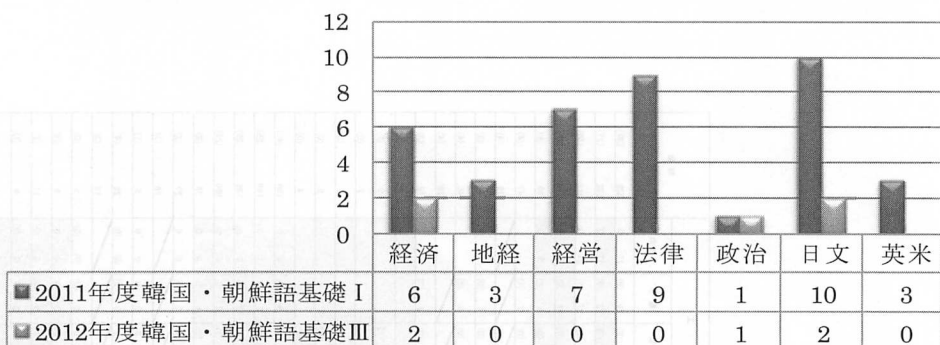
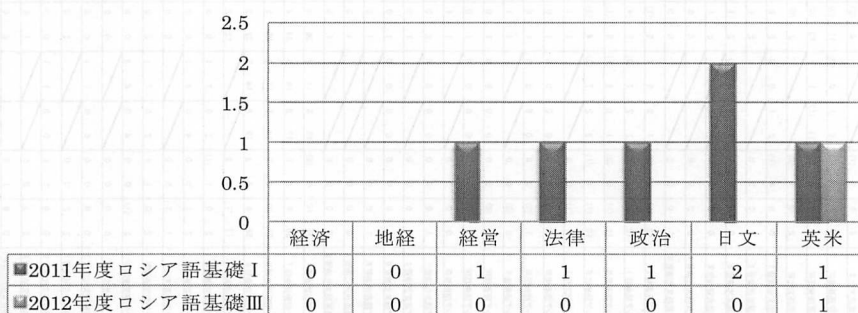
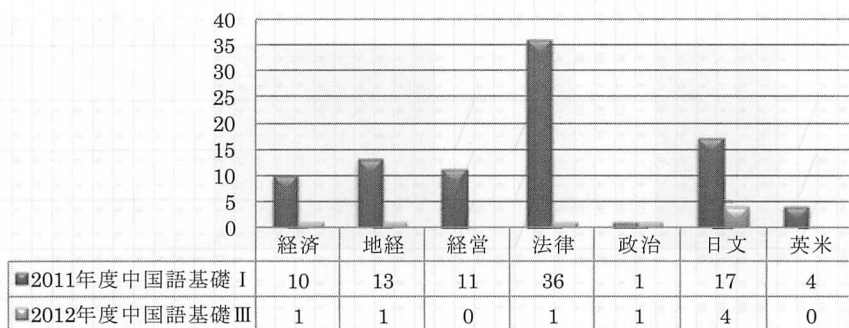
(1部)





(2部)





(5) 3・4 年次配当科目について少し

3 年次には「文化演習」と「言語演習」が、さらに 4 年次には「言語文化演習」が開設されています。次ページの「履修者数一覧」の通り、履修者数は僅かです。その理由と授業の現状について次に少し説明しましょう。

就職活動の早期化に伴い、3 年次までに卒業単位の修得を目指す傾向が学生達の間で顕著になってきています。そのため、学生達の多くは、とりわけ 3 年次において履修制限ぎりぎりまで専門科目を履修するので、外国語科目まで履修登録する余裕がないのが実状です。そういうこともあり、かなりの数の学生が履修登録せずに「英語以外の外国語」の授業に参加するに至っています。また、2 部（夜間部）では、全学部 of 学生達が揃って受講できる授業時間帯を確保することがほとんど不可能なので、正規の時間帯以外にも、「自主ゼミ」を開いたりもしています。

このように、3・4 年次は、「単位修得」ということを度外視し、本当に学びたいと願う学生達が集まった理想的な学習環境の中で、授業が展開されています。